

私と長岡市の歩み（高校卒業まで）

年	私の歩み	長岡市の出来事
24 (1949)	市内四郎丸町4丁目で誕生	
25 (1950)	宮内の国鉄宿舎に転居？	栖吉村合併、科学博物館開館（悠久山）、産業博覧会開催
26 (1951)		復興祭を長岡まつりと改称、三尺玉打ち上げ、富曾亀村合併、駅前広場に平和像が完成
27 (1952)		丸大デパート開店（長岡初のデパート）
28 (1953)		長岡教育放送開局
29 (1954)		宮内町、上川西、深才村合併（3月1日）
30 (1955)	宮内保育所入園	内山由蔵市長就任、市役所竣工（柳原）、長岡教育放送局が柳原庁舎に移転
31 (1956)	宮内小学校入学（水沢謙一校長）	太田村合併
32 (1957)	弓町の国鉄アパートに転居 四朗丸小（2年生）に転向	関原町合併
33 (1958)		大和デパート開店、厚生会館竣工
34 (1959)		坂之上小学校消失
35 (1960)		喜多町のガス井戸炎上、バス3社合併、二和村合併
36 (1961)		長岡地震、豪雪
37 (1962)	南中学校入学	長岡教育放送開局開局10周年記念行事、上村清五郎市長就任
38 (1963)		38豪雪（最深積雪量3.18m）
39 (1964)		国体開催、新潟地震
40 (1965)	長岡高校入学	
41 (1966)		小林孝平市長就任
42 (1967)		郷土資料館竣工
43 (1968)	長岡高校卒業	郷土資料館開館

昭和37年 長岡教育放送局開局10周年記念 公演、及び、公開番組

1、記念公演 (於厚生会館)

八町沖物語 作：山田文雄 出演：長岡放送劇団

時 慶応4年7月20日、24日

所 長岡近郊八町沖の西岸

百姓佐兵衛（主役）とその仲間が、八町沖を長岡藩士が押し渡るための橋を架ける等の助力をしたこと、また、その探索に訪れた官軍の目をそらすために命がけで働く、緊迫した場面を描いている。

劇中、河井継之助は登場せず長岡藩に協力する百姓の姿を中心に描いた感動的な作品。

クライマックスは、佐兵衛が長岡城方面から上がる火の手を見て城奪還が成功したことを知り喜ぶ場面。

2、記念公開番組

放送劇 河井継之助 作：阿部貞子 出演：劇団杉の子

オープニング

アナ 高学年の皆さんこんにちは

今日から、4回にわたって郷土の生んだ偉人 河井継之助 をお送りいたします。

歌 河井継之助の主題歌

- 1、越路の雪のけがれない 心の花は数あれど
正義の旗ふりかざし 茨の道をきりひらき
ただ一筋にいきぬくは これぞ河井継之助
- 2、来た^{きた}らば来^{くる}れ困難^{しき}よ われの力をためさんと
学問の道はげみつつ 古い絆をたち切って
ただ一筋につき進む これぞ河井継之助

(歌の後、少年時代の継之助が、上役の息子の乱暴に敢然に立ち向かう様子や江戸遊学が決まって喜ぶ様子を描いたラジオ放送劇が展開される)

エンディング

歌

3、風雲急を告げるとき 長岡藩のゆく道を
双^{ふた}つの肩ににないつつ 樹^たてん平和の旗じるし
ただ一筋に^{ねが}い祈念しは これぞ河井継之助

4、誠は通ず人の世に ついにやぶれし慈眼寺の
松に流せし血涙は 長岡城の城跡に
今もとどめて^{とこしえ}永久に ああ継之助継之助

アナ 阿部貞子作放送劇「河井継之助」その1回目を終わります。
出演は長岡放送劇団と劇団杉の子の皆さんでした。
それでは、高学年の皆さん さようなら。
こちらは 長岡市教育委員会 長岡教育放送局でございます。
N・E・B

放送劇 天^ぼふらと化^ぼけ葉 作：粉川光一 出演：劇団杉の子

狐と彦一という元気過ぎる少年との騙し合い、化かし合いが殿様や村人と絡んで展開される童話。最後は、彦一が懲らしめられる。